

連盟国外伝道 働き人たちの祈りの課題

2018年6月

インドネシア

野口日宇満宣教師・野口佳奈宣教師

- ①インドネシアの平和が保たれ、まだキリストの福音が宣べ伝えられていない地域への伝道が前進するように。
- ②毎年、ビザの定期更新のために、神学校の教師としてのビザが許可されるように。
- ③教会、神学校での働きに十分な語学の習得のために。
- ④5人の子どもたちの健康と英語、インドネシア語での学びのために。



カンボジア

嶋田和幸宣教師・嶋田薫宣教師

- ①C B U オフィス教会での日曜学校が導かれ、地域の子どもたちに福音を届けられるように。
- ②教会に来られた新来者が、イエス様を受け入れ、救われるように。
- ③和幸宣教師、薫宣教師が共に今後の働きに必要な、クメール語を習得できるように。
- ④家族全員の健康（霊的・身体的・感情的）が守られるように。



シンガポール

伊藤世里江アジア・ミッション・コーディネーター（IJCS 牧師）

- ①朝鮮半島、南シナ海をはじめとするアジアの平和構築のために。
- ②アジアバプテスト女性大会とシンガポールツアー（8月29日～9月4日）の準備のために。
- ③IJCSのLanguage Exchangeプログラムなどを通してシンガポール在住日本人への伝道が進められ、信仰に導かれるように。
- ④IJCSから日本に宣教師を送り出すことができるように。



ルワンダ

佐々木和之国際ミッション・ボランティア

- ①内戦と虐殺を経験したルワンダで、憎しみを乗り越え、和解と共生の前進のために日々努力している人々と主イエスが共に歩んでくださるように。
- ②7ヶ国から集まっているPIASSの平和紛争研究学科の学生たちが、学びと生活の中で関係を深め、主にある平和のために働く者へと成長していくことができるように。



日本バプテスタ連盟国外伝道 働きの成り立ち

日本バプテスタ女性連合推進

世界バプテスタ祈禱週間 (2018.11.25-12.2)

2018 年度献金目標額…4,500 万円

◎用途

連盟国外伝道	3,900 万円
連盟国内開拓伝道	300 万円
福島移住女性支援 (EIWAN)	10 万円
ネパール被災地支援 (ライス&シャイン)	10 万円
アリ・キンダーガールテンスクール	10 万円
アガペ子ども家	10 万円
ブレスカンボジアネットワーク	10 万円
アジアフィールド伝道	40 万円
BWAid (世界バプテスタ連盟救援委員会)	20 万円
国際緊急支援	30 万円
推進活動費	130 万円
調査・育成費	30 万円

(第 45 回女性連合総会承認)

女性会 / 諸教会・伝道所

連盟へ献金

国外伝道 (2018 年度)

- ◎宣教師
野口日宇満・野口佳奈 (インドネシア)
嶋田和幸・嶋田薫 (カンボジア)
- ◎アジア・ミッション・コーディネーター
伊藤世里江 (シンガポール国際日本語教会)
- ◎国際ミッション・ボランティア
佐々木和之 (ルワンダ)
- ◎タイ伝道 (タイバプテスタ神学校講師派遣)
- ◎国際交流
- ◎協議・推進
- ◎国外伝道事務 他

- ◎2018 年度国外伝道専門委員
エイクアス愛 (小樽)、西脇慎一 (神戸)
蛭川潤子 (洋光台)、マウマウタン (国分)、
米本裕見子 (東京北)
- ◎宣教部国外伝道室
室長：井形英絵 事務：丁野雅子

連盟の国外伝道は世界バプテスタ祈禱週間献金によって支えられています。皆さまのお祈り、お献金を感謝いたします。

日本バプテスタ連盟